

【 会 議 録 】（概要）

日 時	令和4年5月30日（月） 午後2時00分～3時15分
会議名	越谷市立小中一貫校整備事業における第3回越谷市PFI事業者選定審査会
場 所	越谷市中央市民会館5階 第2、3会議室
議 題	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 参加資格審査結果について</p> <p>(2) 基礎審査項目審査結果について</p> <p>(3) 提案内容の概要について</p> <p>(4) 事業者への事前質問回答について</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1) 各委員の仮評価について</p> <p>(2) プレゼンテーション・ヒアリング審査の進め方について</p>
出席者	<p>【委員】</p> <p>積田会長、柳澤副会長、高橋委員（3名）</p> <p>【事業所管部】</p> <p>学校教育部 青木部長、五十嵐副部長兼学校管理課長、 学校管理課 杉田調整幹</p> <p>学務課 磯山課長兼小中一貫校整備室長、 小中一貫校整備室 岡田主幹、石堂主幹、コンサルタント5名（11名）</p> <p>【事務局】</p> <p>行財政部 野口副部長</p> <p>公共施設マネジメント推進課 山梨課長、堤調整幹、並木主幹、梅津主事 （5名）</p>
資料等	別添のとおり
内 容	会議録（要旨）のとおり
<p>●決定事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮評価については参考とし、最終的には仮評価と同じ項目でヒアリング等を通して最終評価を行う。 ・ヒアリング審査の進行は事務局で行い、各委員は積極的に質疑をしていただく。質疑の内容は当日に調整して決めていく。 	

会議録（要旨）

司会：公共施設マネジメント推進課 山梨課長

1 開会

2 報告事項

（1）参加資格審査結果について

- ・参加資格審査結果について、事務局から説明を行った。

質疑・応答

なし

（2）基礎審査項目審査結果について

- ・基礎審査項目審査結果について、事務局から説明を行った。

質疑・応答

（委員）

主要要求水準項目についてチェックをしていく中で、水準を満たしているかどうか不明な点については、後ほど報告事項4で説明する、資料としては資料1-3で配付の事前質問を相手にこの項目で質問して、回答をもらって確認をし、水準を満たしているということを確認されたという理解でいいか。

（事務局）

そうなる。

（3）提案内容の概要について

- ・提案内容の概要について、資料1-1、資料1-2に基づき事務局から説明を行った。

質疑・応答

なし

（4）事業者への事前質問回答について

- ・事業者への事前質問回答について、資料1-3、資料3に基づき事務局から説明を行った。

質疑・応答

なし

3 協議事項

(1) 各委員の仮評価について

・各委員の仮評価について、資料2に基づき学校教育部から説明を行った。

質疑・応答

- (委員) 各委員の評価が分かれており、3番目の建設・工事監理業務に関する事項のKS—Sの評価がAからCまで差があるということで、こちらについて何かご意見等があるか。
- (委員) はい。例えばAになったところは、KS—Sの提案内容を見ると比較的よい面があり、一方でKS—Yのほうだとそんなに手厚く書いている感じではなく、要は形式上から見ると比較的差異が見てとれた。素案の中でKS—Sのほうが比較的この工事監理のところでいろいろ工夫されているなという印象があり、それを全体的なこの項目の評価の中でどのぐらいのウエートを占めて評価すればいいか悩んだ。一部よい面が複数存在していると感じたので、一旦はAと評価したが、これは本当にAレベルかどうか、Bレベルぐらいにとどまるレベルなのだろうかというのは、むしろ専門の先生方の意見も聞きながら、ヒアリング等で説明の内容とかを踏まえて、多分ここは修正が必要な点と思いながら一旦評価をした。
- (委員) それほど両者の差はこの建設のところについていない。ポイントではいい部分もあることや、具体性がある気はしたが、特段両者ともそんなに変わりはないわけなので、あまり差をつけていない。
- (委員) 内容的にはそれほど変わらないのではないかという判断で、ただ、そういう意欲があることは確かに、工事監理等々で意欲的な取組ということは評価できると思うが、意外とAとBとの結構点差が大きいので、そこまで差をつける必要はあるかということで評価をした。
- (委員) 提案書なのでうまく書けるかどうかというのも、一つ差として出てくるし、でも実際工事監理をしていく中で必要な工程というのは、先ほど、要求水準をきちんと満たしているかどうかという基礎点の評価は事務局でされたということなので、その辺はきちんとやれるということの評価した上での加点評価だと思うので、やるであろうという内容に関してはそこまで差が出るものではないのが実際の実務であって、最終的に現場としてはそんなに特徴的な提案も、だからずば抜けたと

んでもない点になるわけでもないという考えで理解した。

(委員) 次回ヒアリングをやるので、今日のところは意見交換ということで、今評価を変更する必要はないと思うが、それでよろしいか。

各委員の先生方が細かく評価していただいたが、今の現段階の総合点は、これはあくまで参考ということで、最終的にヒアリング等々通して、これもまた同じ項目で当日評価するというのでよろしいか。

(事務局) はい。

(委員) 3の建設・工事監理業務に関する事項の(2)、工事監理業務全般に係る

Yグループの提案はあるが、29ページ、この点に関して、KS-Sグループのほうでこれに対応する情報を特に何か整理されていなかった。この体制の面に関してはKS-Sグループのところは特に記載はなかったが、逆にこのKS-Yグループの提案を受けて、KS-Sグループに対して、何かこのグループに対するこういう報告体制だとか管理体制について質問された内容はあるか。

(事務局) 資料の1-3の右上にKS-Sと書いてあるほうの資料の4ページで、通し番号で言うと、54番のところに建設・工事監理業務に関する事項の蒲生学園、(1)、建設業務全般に係る事項で①、スケジュール(工事工程)というのがあり、そのところで事務局からは、2校の連携方法についての提案はありますかという質問をしている。事業者から

とい

う回答をいただいている。

(委員) それでは仮評価点に関しては、今日の回答からこの点でということで、最終的な評価はプレゼンテーションのときに行うこととする。

決定事項

・仮評価については参考とし、最終的には仮評価と同じ項目でヒアリング等を通して最終評価を行う。

(2) プレゼンテーション・ヒアリング審査の進め方について

- ・プレゼンテーション・ヒアリング審査の進め方について、資料5、資料6に基づき学校教育部から説明を行った。

質疑・応答

- (委員) 資料3の事前質問事項ということで各委員の先生方からの質問等々、ここに記載があるが、基本的な進行に関しては、事務局のほうで質問事項をプレゼンテーションした後に聞いていく形になるか。
- (学校教育部) 事業者のほうに事前質問ということで投げかけて回答いただいた内容を第4回の選定審査会の中で各委員のほうに提供して、ヒアリングをやっていただくというように考えている。
- ヒアリングの進行は事務局のほうで行い、質疑については各先生方のほうで、例えばこの質問事項を参考にしながら、より具体的に質問をしていただき、そういったものを進めながら最終的な評価をしていただくように考えている。
- (委員) 時間は限られているので、特に質問でこれだけはこののを少しスケジュール必要かなという気がする。
- (学校教育部) 資料4のところ、この後、6月1日に事業者のほうに事前質問事項を送付し、締切りが6月7日ぐらいまでに各事業者のほうから回答をいただくということになっている。その後、各委員の皆様方にその回答を送付し、本日仮評価をしていただいたが、再度検討していただくための資料とさせていただければというふうに思う。最終的には仮評価の資料を参考にさせていただき、ヒアリングを行った後評価をしていただくという流れになる。
- (委員) ヒアリング当日の朝一の10時半からの間で調整させていただく形になるということでしょうか。
- (事務局) はい。

決定事項

- ・ヒアリング審査の進行は事務局で行い、各委員は積極的に質疑をしていただく。質疑の内容は当日に調整して決めていく。

4 その他

- ・今後の審査会のスケジュールについて、事務局から説明を行った。

5 閉会

- ・柳沢副会長